

将来都市像

「ひとまち 自然 笑顔が輝くいんざい」の実現に向けて

新しい総合計画がスタートしました

1 はじめに

市民の笑顔が輝く

魅力ある「まち」をめざして

印西市長 山崎 山洋



澄み切った青空の下には、ゆうゆうと流れる利根川、さらさらと輝く印旛沼や手賀沼が広がりを見せ、緑の大地には爽やかな風が吹いています。

平成22年3月の印旛村・本埜村との合併により、人口約9万人、面積123・8平方キロメートルとなった私たちのまち「印西市」は、先人から継承されてきた伝統や文化、美しい自然環境、都心と成田空港への利便性や整備された都市基盤などを有しており、今後ますますの発展が期待されているところです。

一方、我が国の社会情勢は、人口減少社会の到来や少子高齢化の進行、グローバル化による産業構造の変化、分権社会の進展、さらには安全・安心への意識の高まり、価値観や生活様式の多様化などにより大きな変革期を迎えています。

このような中、印西市総合計画では、将来都市像を「ひとまち 自然 笑顔が輝くいんざい」と設定し、豊かな自然環境と都市環境の調和の中で、市民一人ひとりが夢と希望を持っていきいきと活動し、ひとが輝き、まちが輝き、自然が輝き、子どもから高齢者まで、すべての市民の笑顔が輝く魅力ある「まち」を築いていくことといたしました。厳しい財政状況の中ではございますが、将来都市像の実現に向け、透明性のある行政運営のもと、市民、事業者、行政などが連携・協働しながら市民ニーズに適切に応えるまちづくりをこれまで以上に推し進めていく所存でございますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力をいただきました印西市総合計画審議会、印旛地区地域審議会、本埜地区地域審議会の委員の皆様をはじめ、総合計画策定に係る市民会議、市民アンケート、市民説明会、市民意見公募などでご協力をいただきました多くの皆様方に心から感謝を申し上げます。

2 計画の概要

■策定の趣旨

印西市総合計画は、印西市のめざすべき将来都市像を掲げ、その実現に向けた政策を展開していくための指針として定めるものであり、市の最上位計画となるものです。

合併から2年が経過し、それぞれの地域が持つ豊かな自然や伝統文化、整備された都市基盤、広大な農地などを最大限に活かした魅力あるまちづくりを計画的に進めていくために策定したものです。

■構成と期間

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成しています。

①基本構想

基本構想は、市の将来都市像を描き、それを実現するための「基本目標」と「政策」を示すもので、目標年度を平成32年度としています。

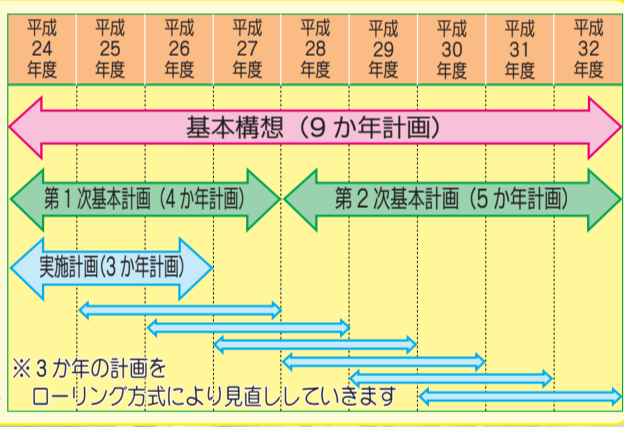
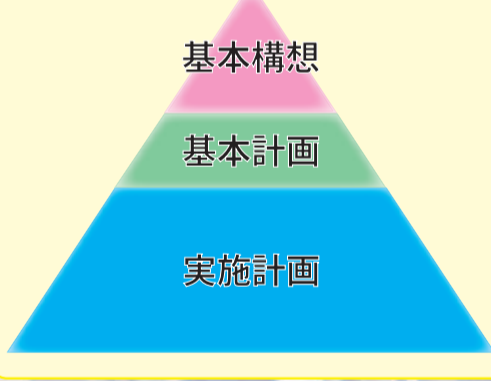
②基本計画

基本計画は、基本構想に掲げた「基本目標」と「政策」に沿って、その具体的な「施策」を示すもので、前期計画となる第1次基本計画の計画期間を平成24年度から平成27年度までの4年間、後期計画となる第2次基本計画の計画期間を平成28年度から平成32年度までの5年間としています。

③実施計画

実施計画は、基本計画に掲げた「施策」を達成するための手段として、主要な「事業」を示すもので、基本計画開始年度に3か年の計画を策定し、ローリング方式により見直しを行うものとしています。

総合計画の構成



■策定の視点

総合計画は、次の5つの事項を踏まえ、策定しました。

①新市基本計画

合併時に策定された「新市基本計画」。

②市の概要

位置・地勢、沿革、人口・世帯数の推移、財政の状況、産業の動向などの市の概要。

③社会動向

人口減少・少子高齢化の進行、安全・安心への意識の高まり、産業構造の変化などの市を取り巻く社会状況。

④市民ニーズ

市民会議や市民アンケートなど、多くの市民のみなさんのご意見。

⑤まちづくりの視点

本市の特徴や独自の課題を踏まえた、5つのまちづくりの視点を設定。

視点1 立地優位性と地域資源の活用

視点2 安全で安心な暮らしの確保

視点3 未来へつなぐ活力の創造

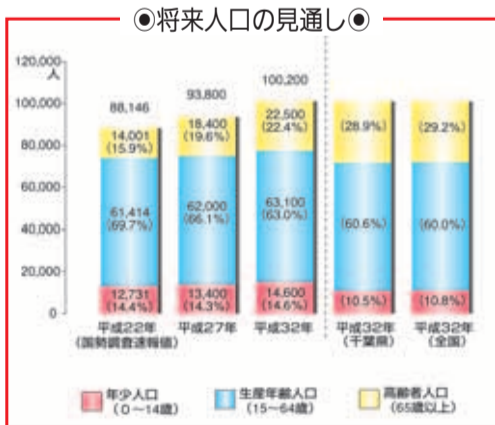
視点4 地域の一体感の醸成と市民との連携・協働

視点5 健全で自立した行財政運営

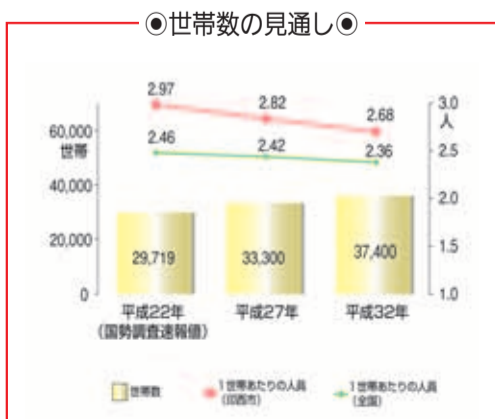
■将来人口と世帯数

本市の人口は、千葉ニュータウン区域への新規入居などにより、今後も緩やかに増加していくことが予想され、平成32年には10万人を超える見込みです。年齢構成比では、年少人口比(14歳以下)がほぼ横ばいで推移する一方で、高齢者人口比(65歳以上)は上昇していくものと推計しており、今後、高齢化が急速に進行していくことが予想されます。

●将来人口の見通し●



●世帯数の見通し●



▲市民説明会の様子



▲印西市総合計画審議会、印旛地区・本埜地区地域審議会の合同会議の様子